

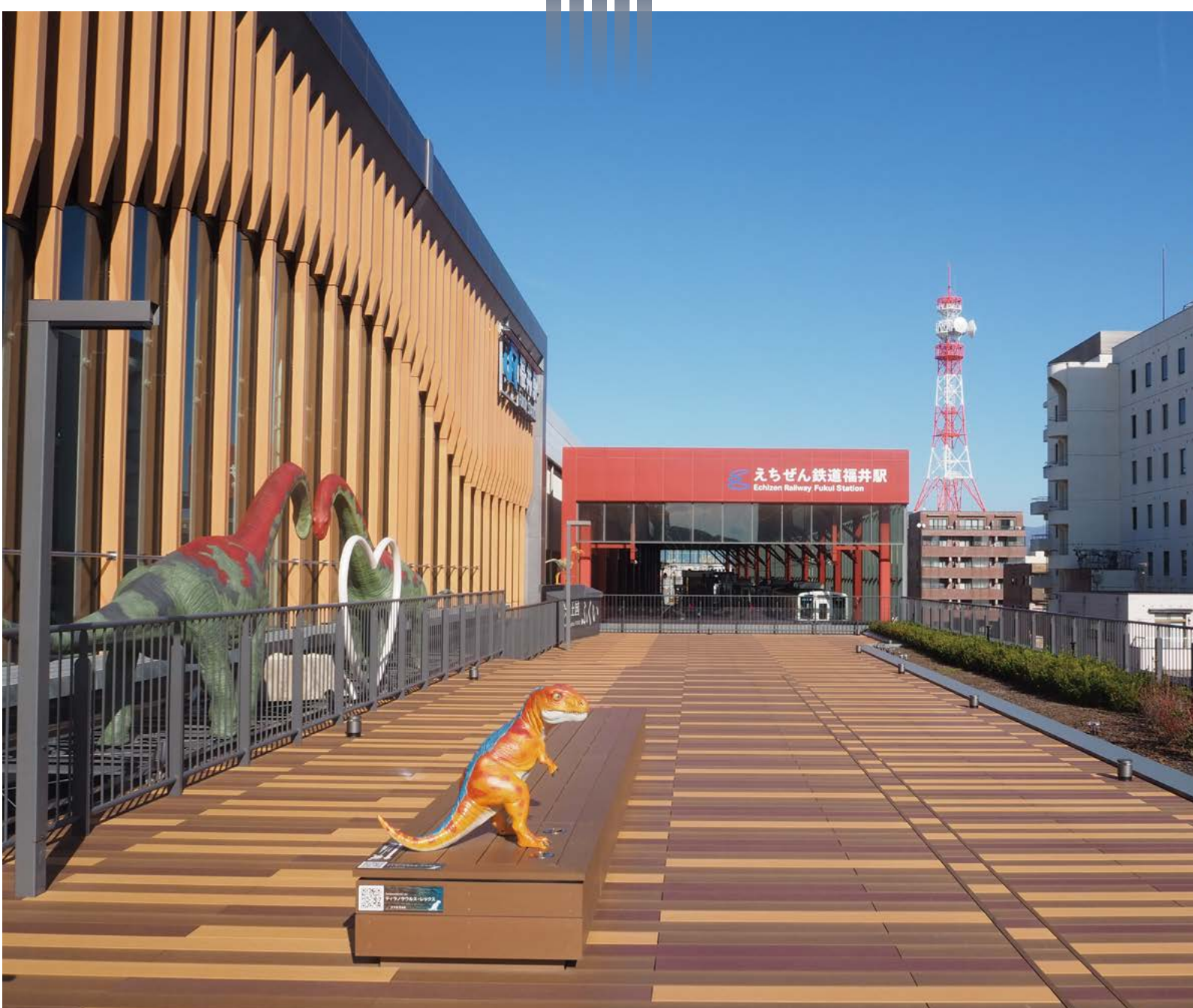
THE HOKURIKU INDUSTRIAL ADVANCEMENT CENTER

HiAC NEWS

ハイアック・ニュース

一般財団法人 北陸産業活性化センター会報誌

vol.115



HIAC NEWS

INDEX

- 01 フェムテック産業振興研究会の取組について
- 07 北陸RDX活動報告(2024.10~2025.3)
- 10 その他活動報告(2024.10~2025.3)
- 14 賛助会員ズームアップ「フクビ化学工業株式会社」



◎表紙画像 [写真提供：フクビ化学工業株式会社]

福井市観光交流センター 屋上広場

北陸新幹線改札口のすぐ隣にある「福井市観光センター」。その屋上広場のデッキ材にフクビの再生木「プラスッド」が使用されています。恐竜がいっぱいの屋上は新幹線のホームと同じ高さで、ガラス越しに車両も見ることができ、人気スポットの一つとなっています。

Event Report

開催報告

フェムテック産業振興研究会の取組について

DE&I(ダイバーシティ・エクィティ&インクルージョン)推進と経済成長の好循環実現に向け、2023年度より、北陸地域におけるフェムテック産業の振興・集積を目指した研究会を設置し、女性の健康等をサポートするフェムテック製品・サービスを創出するための課題の抽出・解決策の検討を行ってきました。

2024年度は、2025年度に設立する協議会「北陸フェムテックネットワーク」の体制整備のための準備期間として、シンポジウム形式のオープンな研究会を4回シリーズで開催しました。第1回目(8/27)は「職域」、第2回目(10/25)は「地域」、第3回目(12/13)は「学域」にそれぞれフォーカスした内容を取り上げ、最後の第4回目は、過去3回の内容を総括し「北陸地域におけるフェムテック産業振興のあるべき姿」について、国内外の成功事例や北陸の現状を基に考察しました。以下は、前号(昨年9月発刊)以降に開催した第2回～第4回研究会の概要について紹介します。

「第2回 フェムテック産業振興研究会」

【開催日】	2024年10月25日
【場所】	オンライン
【出席者】	62名
【主催】	北陸産業活性化センター
【後援】	北陸経済連合会、一般社団法人日本フェムテック協会、とやまヘルスケアコンソーシアム 石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会
【協力】	経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局
【内容】	統一テーマ：「地域社会における働く女性の健康課題と対策ー地域へのフェムテックの健全な普及・動向」

- ◆講演① 演題：「地方におけるフェムテックー地域がより選ばれるためにー」
講師：一般社団法人日本フェムテック協会 福井支部(社会保険労務士) 小口 彩子 氏
概要：地方創生とフェムテックの関係について、なぜ必要なのか？ またどのようなことから始めたらよいのか？
そもそもフェムテックとは何か？ 企業経営・自治体経営にとっての重要性について、自身の実践と経験(福井県ふるさと納税クラウドファンディング、フェムテックサミットなど)を紹介する。
- ◆講演② 演題：「local が世界を変える ～地方中小企業の取組～」
講師：株式会社平田不動産(福井県小浜市) 代表取締役社長 平田 稔 氏
※「第10回 NIPPON 女性のからだ会議 2024」中小スタートアップ部門でチャレンジ大賞受賞
概要：福井県小浜市は人口 28000 人のまち。人口減少と空き家増加という地域課題を抱えながら、継続可能なまちづくりに貢献すべく不動産業を営む。企業の土台は「人」。その「人」を育成し、地域の方々のおよき相談相手となるために、どうすれば「人」に力を発揮してもらえるのか？ 女性のヘルスケアについて考えることこそ「人」の魅力と力を解放する重要なキーワードになる。



◆パネルディスカッション

テーマ：「地方創生のために重要な女性活躍推進 ～地域におけるフェムテックの可能性～」

モデレーター：事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏

パネリスト：一般社団法人日本フェムテック協会 地域統括責任者 福井支部 小口 彩子 氏

株式会社平田不動産 代表取締役社長 平田 稔 氏

芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏

以下の観点から、聴講者のご発言も交えながら議論しました。

- ①家事、育児、介護に関わる身体的・心理的・社会的負担が女性に偏る北陸地域に根強い役割分担意識の解消と問題解決にフェムテックはどんな介入と支援ができるか。
- ②女性が地方を離れる課題に対し、女性の暮らし(学ぶ、遊ぶ、働く、恋愛・結婚、妊娠・出産、育児休業・産後復職)における多様な選択肢の実現にフェムテックはどんな介入と支援ができるか。
地方は医療機関や女性医師が少なく、女性特有の疾患やメンタルに関する医療サービスの受け皿が不足している問題に対し、フェムテックはどんな介入と支援ができるか。
- ③地域におけるフェムテックの社会実装に向けて、地域住民、企業、自治体はどのように取り組み、学術研究は何をデザインしたらよいか。

「第3回 フェムテック産業振興研究会」

【開催日】 2024年12月13日

【場所】 オンライン

【出席者】 63名

【主催】 北陸産業活性化センター

【後援】 北陸経済連合会、一般社団法人日本フェムテック協会、とやまヘルスケアコンソーシアム、
石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会

【協力】 経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

【内容】 統一テーマ：「若年女性の健康課題の見える化と対策 ～中学・高校生から大学生、そして社会人への支援～」

◆講演① 演題：「キャズムを超えるフェムテック ～保健室 BOX から始まる未来のヘルスケア～」

講師：fermata 株式会社 代表取締役 CEO 杉本 亜美奈 氏

概要：全国の高校で展開している「保健室 BOX」の取組を紹介。思春期から社会人になるまでに直面する健康課題（生理不順、メンタルヘルス、避妊、性教育など）に対し、今まで顕在化されてこなかったヘルスケアニーズを可視化するフェムテック製品やサービスがどのように役立ち、学校・家庭・職場での支援策と連携しながら解決策を提供するかを解説。国内外で急成長するフェムテック市場の可能性にも触れ、キャズムを超えた次の新市場への道筋を描き、フェムテックが切り開く未来を伝える。

◆講演② 演題：「教育現場である大学においてフェムテックはどのような役割を果たすか」

講師：金沢大学総務部人事労務課ダイバーシティ推進担当専門業務職員 菊澤 彩子 氏

金沢大学融合学域先導学類 ユースの保健室代表 小田波 優矢 氏

概要：金沢大学ダイバーシティ推進機構は、2023年度「フェムテック等サポートサービス実証事業補助金」に国立大学法人として初めて採択され、フェムテック情報ステーションとしての「思考するトイレ」を中心とした「ふむふむフェムテック」プロジェクトを実施。プロジェクトの概要や学内外の反響、今後の課題、当プロジェクトに参画した学生主体の任意団体「ユースの保健室」の取組等を紹介する。

◆パネルディスカッション

テーマ：「若い女性の未来の健康をデザインするために今できること～学域におけるフェムテックの可能性～」

モデレーター：事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏

パネリスト：fermata株式会社 代表取締役 CEO 杉本 亜美奈 氏

金沢大学 総務部人事労務課 ダイバーシティ推進担当 専門業務職員 菊澤 彩子 氏

金沢大学 融合学域先導学類 4年、コースの保健室代表 小田波 優矢 氏

芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏

東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏

以下の観点から、聴講者のご発言も交えながら議論しました。

①学域における「保健室」のもつ機能的な価値、情緒的な価値、社会的な価値について。

②学域におけるフェムテックにおいて、キャズムはどこにあるか。

③世代ギャップをエピソードにしたフェムテックの可能性について。

④フェムテックの社会実装に向けて、学域住民(学生・教職員)、企業、自治体はどのように取り組めばよいか。



「第4回 フェムテック産業振興研究会」

【開催日】 2025年2月28日

【場所】 石川県地場産業振興センター(オンライン併用)

【出席者】 64名

【主催】 北陸産業活性化センター

【後援】 北陸経済連合会、一般社団法人日本フェムテック協会とやまヘルスケアコンソーシアム、石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会

【協力】 経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

【内容】 統一テーマ：「性別・年齢に関係なく誰もが活躍できる社会を実現するには～北陸地域でのフェムテック産業振興のありたい姿は？～」

◆講演① 演題：「世界の女性活躍推進とテクノロジー状況」

講師：日本 IBM 株式会社 コンサルティング事業本部 福井 穂香 氏

概要：グローバルに人材・サービスを展開する IBM から、テクノロジーを活用し、日本および世界における女性活躍推進を実現した事例やその考え方について、具体例を交えて紹介する。



【福井氏】

- ◆講演② 演題：「北陸のフェムテック関連産業・人材の現状を踏まえた将来の見通し」
 講師：福井県立大学 地域経済研究所 所長・教授 松原 宏 氏
 概要：北陸地域におけるフェムテック産業のポテンシャル調査（フェムテック関連の団体や企業、研究機関、人材等の現状）した結果を踏まえ、北陸地域のフェムテック産業集積の現状と課題について解説する。



[松原氏]

◆パネルディスカッション

テーマ：「性別・年齢に関係なく誰もが活躍できる社会を実現するには
 ～北陸地域におけるフェムテック産業振興のありたい姿とは？～」

モデレーター：事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏

パネリスト：日本 IBM 株式会社 IBM コンサルティング事業本部 マネージングコンサルタント 福井 穂香 氏
 福井県立大学 地域経済研究所 所長・教授 松原 宏 氏
 芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏

東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏

以下の観点から、聴講者のご発言も交えながら議論しました。

- ①フェムテックの実用化(産業振興、社会実装)のため、越えなければいけないハードル、満たすべき要件は何か。
- ②北陸地域におけるフェムテック実用化(産業振興、社会実装)のポテンシャルは、どこにあるのか(技術、市場、文化など)。
- ③会場およびオンライン参加の皆さんの現在および今後の活動が、北陸地域におけるフェムテックの実用化に寄与する可能性について。
- ④フェムテックの実用化には、産学官民+αがどのように連携をすればよいか(最終提言として)。



[西根氏]



[平田氏]



[前田氏]



2025年度 活動計画の概要

(1)協議会の設置

a. 協議会の名称

地域経済を動かす新たな力となる **北陸フェムテックネットワーク**

b. ビジョン

『北陸から日本全国へ、日本全国から北陸へ、フェムテック産業振興と誰もが活躍しやすい社会の構築を目指す』

北陸フェムテックネットワークは、フェムテック産業振興による地域経済の活性化と誰もが活躍しやすい社会の実現を目指し、地域の資源や技術を活用しながら、持続可能な社会とエコシステムの構築を推進する。

また、国内外からも先進技術や知見を積極的に取り入れ、双方向の交流を図ることで、北陸を DE&I(ダイバーシティ・エキティ&インクルージョン)のリーディングエリアとする。

c. 目標

(a) 地域産業の活性化

フェムテック製品・サービスの研究開発を促進し、地域発の新たな市場創出と地域経済の成長を推進する。

(b) 国内外のネットワーク構築

「産学官医民商」のネットワークを構築し、国内外の最新技術や事例と連携しながら、フェムテック産業振興を推進する。

(c) 災害時における女性支援の強化

フェムテック活用により、大規模災害発生時にも、女性の健康を守る体制を整える。

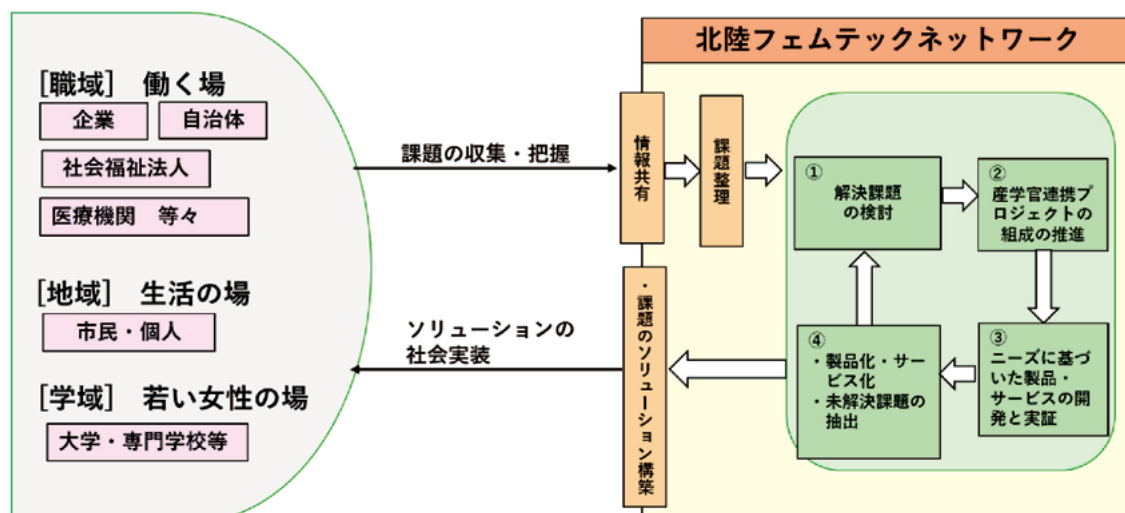
(d) 北陸地域におけるウェルビーイングの向上

ライフステージに応じた健康管理とケアができる環境が提供され、誰もが働きやすく、暮らしやすい地域を実現する。

(2)協議会の活動

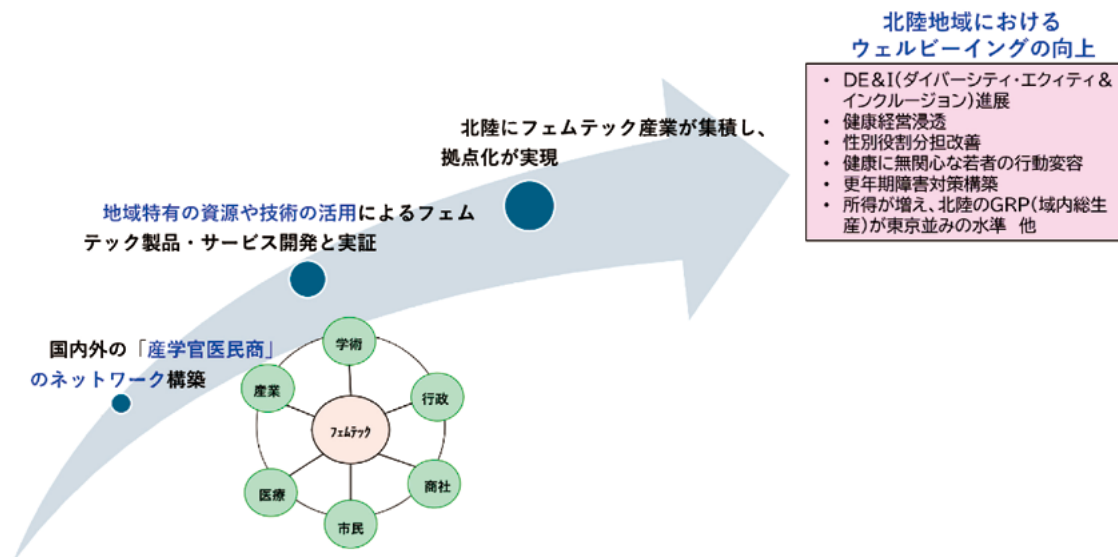
a. 女性の活躍推進に向けた課題の収集・把握

- ・会員へのヒアリングを通じて、職域・地域・学域における女性活躍推進の課題を収集・分析
- ・収集した課題に基づき、フェムテックを活用したソリューションの検討



b. 「産学官医民商」ネットワーク構築およびフェムテック製品・サービス開発と実証の支援

- フェムテック市場の成長を促進するための情報提供・マッチング支援
- 技術開発、製品開発のサポート(国プロジェクト組成・補助金獲得支援)
- 開発した製品・サービスの実証
- フェムテック産業振興を目指した人材育成(起業家の育成と支援等)



- 北陸地域におけるウェルビーイングの向上**
- DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)進展
 - 健康経営浸透
 - 性別役割分担改善
 - 健康に無関心な若者の行動変容
 - 更年期障害対策構築
 - 所得が増え、北陸のGRP(域内総生産)が東京並みの水準 他

c. 災害発生時におけるフェムテックの活用

能登半島地震・豪雨を踏まえ、大規模災害時における女性の健康・衛生・安全を確保するためのフェムテック導入を提言

(3) 『北陸フェムテックネットワーク』会員募集 (入会のご案内)

『北陸フェムテックネットワーク』は、フェムテック産業の発展を通じて、健康・働きやすさ・暮らしやすさを向上させることを目的とした、産学官医民商のネットワークを活かした協議会です。

- 健康・ウェルビーイングに貢献したい企業・団体・個人の方
- フェムテック分野の新商品・新サービスの開発や実証を進めたい方
- 産学官連携や地域活性化に関心がある方

このネットワークに参加することで、最新の市場動向の共有、実証実験の機会提供、ビジネスマッチング、補助金情報の提供など、さまざまなサポートが受けられます。

- 会費は無料です。
- 入会のお申込み・お問い合わせは、以下までご連絡ください。

北陸産業活性化センター「北陸フェムテックネットワーク事務局」
 メール：femtech-network@hiac.or.jp
 電話：076-264-3001

北陸RDX活動報告 2024.10 ▶ 2025.3

2024年度 工作機械企業向けデジタルシミュレーション研修

北陸地域に集積している工作機械企業を対象として、デジタルシミュレーション技術向上と適用拡大により生産性向上や業務革新を支援するため、CAEベンダーおよびアカデミアの講師による研修を実施しました。

【開催日】2024年11月27日～28日

【場所】北国ビルディング

【受講者】10名(工作機械企業6社)

【研修テーマ】工作機械における熱変位量の推定

【内容】

◆ 1日目

- ① 金沢工業大学 工学部 機械工学科 准教授 林 晃生 氏
『工作機械のデジタルツインによる適応制御から省エネと環境負荷対応』
- ② 石川県工業試験場 企画指導部 デジタル活用ものづくり推進室 室長 高野 昌宏 氏
『工作機械における熱のデジタルツイン -工具刃先温度のバーチャルセンサ』
- ③ サイバネットシステム株式会社 喜多 雅子 氏
『工作機械における熱変位量の推定 -ANSYSを用いた解析シミュレーション-』



【①林氏】



【②高野氏】



【③喜多氏】

◆ 2日目

- ④ 東京大学 大学院工学系研究科 機械工学専攻 講師 木崎 通 氏
『工作機械の熱変位セミナー』
 - 熱変位が生じるメカニズム
 - 熱変位量の推定
 - 推定誤差低減方法
 - 熱変位量の算定実習



【④木崎氏】



【実習】



【アンケート結果】

研修後、参加者にアンケート調査を実施したところ、ほぼ全員から「本研修は、実務に大いに役立ち、他の人に薦められる」との高評価を得ました。

「HOKURIKU Innovation Summit ～北陸のプロダクトイノベーションを加速する～」

北陸地域の強みを生かしたプロダクトイノベーションのさらなる活性化を目的として、株式会社RICHとの共催により、「HOKURIKU Innovation Summit～北陸のプロダクトイノベーションを加速する～」を開催しました。

第1部の「北陸イノベーション・カンファレンス」では、失敗学の権威である中尾政之氏による基調講演と、北陸地域で活躍するプロダクトイノベーションに関するキーパーソンによるパネルディスカッションを行いました。

第2部の「北陸イノベーション・ネットワーキング」では、北陸地域のプロダクトイノベーション関係者によるディスカッションとネットワーキングを行いました。

※本イベントは経済産業省「産学融合拠点創出事業（産学融合先導モデル拠点創出プログラム）」および中小企業庁「イノベーション・プロデューサー事業」の一環として実施しました。

- 【開催日】 2024年12月10日
【場所】 ホテル金沢
【参加者】 90名
【主催】 北陸産業活性センター、株式会社 RICH
【後援】 北陸経済連合会
【内容】

■第1部「北陸イノベーション・カンファレンス」

- ①挨拶 経済産業省 イノベーション・環境局 大学連携推進室長 川上 悟史 氏
②基調講演 講師：東京大学 名誉教授 産学協創推進本部特任研究員 中尾 政之 氏
演題：「失敗学の権威が語る～リスクもチャンスも違和感を起点に始まる～」



【中尾氏】



【パネルディスカッション】



【会場の様子】

③パネルディスカッション

テーマ：「北陸地域からのプロダクトイノベーションの推進に向けて」

モデレーター：北陸RDX 統括エリアコーディネーター、株式会社RICH 代表取締役 井熊 均

パネリスト：東京大学名誉教授 産学協創推進本部 特任研究員 中尾 政之 氏

会宝産業株式会社 代表取締役社長 近藤 高行 氏

アイディッシュ株式会社 代表取締役社長、株式会社下村漆器店 代表取締役社長 下村 昭夫 氏

株式会社日本オープンシステムズ 代表取締役社長 園 博昭 氏

アルム株式会社 代表取締役 平山 京幸 氏

■第2部「北陸イノベーション・ネットワーキング」

- ①挨拶 中小企業庁 経営支援部 イノベーションチーム 係長 浅海 瞳 氏

②ディスカッションおよびネットワーキング

北陸地域のプロダクトイノベーション創出に関する意見交換を通じて交流を深めました。



【会場の様子】



【記念撮影】

北陸DXアライアンス(HDxA)第8回総会

経済産業省のJ-NEXUS産学融合先導モデル拠点創出プログラムにおいて、北陸RDXの最高意思決定機関である北陸DXアライアンス(HDxA)の第8回総会を開催しました。

RDX事業の活動報告のほか、2023年11月6日に設立した株式会社RICHの活動状況などについて報告の後、活発な意見交換を行いました。

【開催日】2025年1月21日

【場所】ホテル金沢 ※オンライン併用

【参加者】53名

【内容】

研修テーマ：『工作機械における熱変位量の推定』

- ①推進計画の進捗状況
- ②主な活動状況
 - ・ESG ファイナンスラボ、シンポジウム
- ③北陸DXアライアンス(HDxA)の今後の体制
- ④RICHの活動状況
 - ・イベント(株主総会、取締役新体制、コーチング研修)
- ⑤次年度に向けた計画
- ⑥意見交換



【金井会長(左)、井熊総括エリアコーディネーター】



令和6年度 産学融合拠点創出事業 産学融合先導モデル拠点創出プログラム《成果報告会》

産学融合拠点創出事業産学融合先導モデル拠点創出プログラムの成果報告会が行われました。

今年度で5年間の事業が終了する「関西イノベーションイニシアティブ」と「チャレンジフィールド北海道」の成果報告の他、「北陸RDX」は、4年間の中間報告を行いました。

また、3拠点でコーディネート活動を行う担当者によるパネルディスカッションも行いました。

【開催日】2025年2月19日

【場所】スペース中目黒(東京都目黒区)

【内容】

- ① 講演 講師：経済産業省 イノベーション・環境局 大学連携室長 川上 悟史 氏
演題：「地域イノベーション創出のための産学融合の可能性」
- ② 成果報告
 - ・関西イノベーションイニシアティブ
 - ・チャレンジフィールド北海道
- ③ 中間報告
 - ・北陸RDX
- ④ パネルディスカッション
テーマ：『イノベーション創出に向けた産学融合を進めるコーディネート活動とは？』
登壇者：井上 利更 氏 (関西イノベーションイニシアティブ)
和田 順子 氏 (チャレンジフィールド北海道)
常山 知広 氏 (北陸RDX)
- ⑤ 情報交換会

その他活動報告 2024.10 ▶ 2025.3

イノベーションシーズ講演会

産業技術総合研究所の技術シーズを紹介することを目的に、H12年度から開催しており、今回が28回目になります。

- 【開催日】 2024年10月3日
【場所】 富山県民会館
【主催】 産業技術総合研究所 北陸デジタルものづくりセンター、
北陸産業活性化センター
【後援】 北陸経済連合会
【協力】 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局
【参加者】 43名
【内容】 統一テーマ：「デジタルものづくりにおける最新技術」
プログラム：
【開会挨拶】 産総研 北陸デジタルものづくりセンター 所長 芦田 極 氏



講演①『産総研の地域連携の取り組みについて』

講師：産総研 企画本部 地域部 地域戦略室 総括企画主幹 田中 秀幸 氏
※産総研では、経営方針に基づき地域イノベーションの推進による地域産業の活性化に取り組んでおり、産総研の地域連携活動における最近の取り組みの概要と地域企業等との連携事例について紹介しました。

講演②『BJTで始める金属3D造形の新しい取り組み』

講師：産総研 インダストリアルCPS研究センター 3D造形評価研究チーム
研究チーム長 中住 昭吾 氏
※産総研は、国内ではまだ活用事例が少ないバインダーージェット(BJT)方式の金属3Dプリンタを公的機関として初めて導入し、産業製品の製造に向けた研究開発を行っており、その取り組み状況や課題、今後の展望などについて紹介しました。

講演③『滑雪フィルムの実証試験』

講師：産総研 極限機能材料研究部門 光熱制御材料グループ
研究グループ長 浦田 千尋 氏
※産総研は、昨冬、開発した滑雪フィルム「SLUG」の実証試験を福井県と北海道で開始しており、その実証試験の結果や反省点について紹介しました。

講演④『人間拡張を目指したスマートテキスタイルによるサービスデザイン』

講師：産総研 人間拡張研究センター キャリアリサーチャー 牛島 洋史 氏
※繊維技術とエレクトロニクスを融合させたスマートテキスタイルによって繊維産業の新展開を図るためには、コトづくりを起点として、サービスを提供することを目指した21世紀型ものづくりへの発想の転換が必要であることを紹介しました。

講演⑤『人間拡張技術×北陸地域産業×DXで創るデータを軸としたサービス ーふくい桜マラソンにおけるランニングDXサービスへの取り組みー』

講師：産総研 人間拡張研究センター 共創場デザイン研究チーム
研究チーム長 村井 昭彦 氏
※北陸デジタルものづくりセンターでは、人間拡張技術×北陸地域産業×DXでデータを軸とした強いビジネスの創出に取り組んでおり、昨年度実施したふくい桜マラソンにおけるランニングDXサービスと今後の展開などについて紹介しました。

【閉会挨拶】

北陸産業活性化センター 常務理事 福井 聡

北陸産業活性化フォーラム

北陸地域の企業、大学、研究機関等の皆さまを対象に、異分野との技術交流や情報交換を通じて連携を深めていただくことを目的に、「北陸ものづくり創生協議会(2002年度～2009年度)」に参画していた4つの研究会等とともに、2012年度から開催しており、今回が12回目になります。

【開催日】 2025年3月4日

【場所】 ホテル金沢[オンライン併用]

【主催】 北陸産業活性化センター

【共催】 ほくりく先端複合材研究会、北陸マイクロナノプロセス研究会、
NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会、ほくりく環境・バイオマス研究会、北陸経済連合会

【協力】 経済産業省 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

【参加者】 52名

【内容】

統一テーマ：『企業の競争力を強化するための生成 AI』

プログラム：

・基調講演

演題：『生成AI活用の最前線 ～観光、医療、ビジネスにおける挑戦と可能性～』

講師：福井工業大学 AI&IoTセンター長 工学部 電気電子情報工学科 教授 芥子 育雄 氏

内容：北陸地域を舞台に進行中の実証実験から得られた知見を基に、観光案内AIが地域振興に与える影響、医療ケアロボットや診断補助ツールがヘルスケア領域にもたらす可能性、顔認識技術と生成AIを組み合わせた文具診断AIが創出する新しいショッピング体験について具体的に紹介するとともに、北陸地域における最新事例を通じて、生成AIを効果的に取り入れるための手法や注意点について解説しました。



・講演

演題：『国内のDXや生成AIの取組状況と経済産業省の支援策について』

講師：経済産業省 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

地域経済産業課 総括係長 兼 地域未来コンシェルジュ 上野 拓実 氏

内容：国内のDXの取組状況や、生成AIの活用状況、今後の動向や経済産業省における支援策等を紹介するとともに、他の地域に先駆けてライドシェアや地域通貨の実装に取り組み、「共助の精神」をDXにより、リ・デザインし続けている富山県朝日町の事例などを具体的に紹介しました。



「北陸技術交流テクノフェア2024」に出展

【開催日】 2024年10月17日～18日

【場所】 福井県産業会館

【主催】 北陸技術交流テクノフェア実行委員会

【内容】 北陸経済連合会と合同出展し、当財団の事業概要や新事業創出助成事業、北陸RDX(経産省補助事業)の取組状況を紹介しました。ブース展示の他、プレゼンテーションコーナーにおいて「北陸RDXからRICHへ北陸地域における事業支援機能」と題して発表も行いました。



【展示ブース】



【新製品・新技術公開プレゼンテーションでの発表】

「Matching HUB Hokuriku 2024」に出展

【開催日】 2024年11月12日～13日

【場所】 ANAクラウンプラザホテル金沢

【主催】 北陸先端科学技術大学院大学未来創造イノベーション推進本部

【共催】 北陸先端科学技術大学院大学支援財団、一般社団法人JAIST支援機構、北陸産業活性化センター、富山大学、金沢大学、福井大学

【内容】 当財団の事業概要や新事業創出助成事業、北陸RDX(経産省補助事業)の取組状況を紹介しました。北陸RDXの紹介ブースでは、推進計画の中から以下の事業者が個別に展示・説明を行いました。また、Matching Pitchにおいて事業概要のプレゼンテーションも行いました。



【北陸先端科学技術大学院大学(主催者)寺野学長の開会挨拶】



【展示ブース】



【展示ブース】

事業者	展示内容
北陸産業活性化センター(北陸RDX推進室)	北陸RDXの事業概要
エコシステム株式会社	中小建設業の省力化を目指す車載型生コンプラント事業
サステナック株式会社	環境負荷の大幅低減を実現する超臨界染色加工技術の開発

Activity Report

事業者	展示内容
有限会社ジータ	製造現場における「必要なところだけ省力化する」パワーアシストシステムの開発
株式会社地域みらい	LiDAR SLAMを用いた三次元空間情報の活用
株式会社田中建設	廃石膏ボードの国内初の固化材再資源化によるリサイクル事業
会宝産業株式会社	カーボンニュートラル時代における、自動車業界の静脈産業の新たなビジネスモデルの創出
アイディッシュ株式会社 北電産業株式会社	「ディッシュクック」による新たな食事提供システム
テクノマックス有限会社	高所作業を安全に行える電動脚立の市場開発
株式会社Dioptra	データ駆動型インフラ管理ソリューション
株式会社RICH	事業の種の事業化、スタートアップ支援について

2025年4月以降の主な行事予定

行事名	開催日	開催場所
新事業創出助成(公募)	4月～5月	—
北陸フェムテックネットワーク設立総会	5月23日	ホテル日航金沢(ハイブリッド)
監事監査	5月29日	北国ビル
新事業創出助成(審査、契約)	5月～6月	—
第42回理事会	6月3日	ホテル日航金沢
第35回評議員会	6月下旬	金沢市内
デジタル人材育成講座(4回)	7月	オンライン
デザイン思考による事業創出(バイオデザイン)ワークショップ	8月	北国ビル(ハイブリッド)
イノベーションシーズ講演会	8月～12月	福井市内
北陸産業活性化フォーラム	8月～12月	金沢市内
北陸ソーシャルフェムテック協議会 研究会	9月	金沢市内(ハイブリッド)
北陸技術交流テクノフェア(出展)	10月23日～24日	福井県産業会館
富山県ものづくり総合見本市(出展)	10月30日～11月1日	富山産業展示館
Matching HUB Hokuriku(出展)	11月13日～14日	ANAクラウンプラザホテル金沢
工作機械企業向けデジタルシミュレーション研修	11～12月	金沢市内
HDxA第9回総会	12月	金沢市内(ハイブリッド)
第5回北陸ヘルスケア産業推進連絡会	3月	北国ビル(ハイブリッド)
第43回理事会	3月上・中旬	金沢市内
第36回評議員会	3月下旬	金沢市内

ホームページでも各種講演会やセミナーなどを随時ご案内しております。ぜひご覧ください。

フクビ化学工業株式会社



代表取締役会長CEO 八木 誠一郎氏
代表取締役社長COO 森 克則氏

創業 1953年(昭和28年)5月
所在地 福井県福井市三十八社町33-66
資本金 21億9390万円
従業員 981人(連結2024年3月期)

事業内容 建築資材の製造・販売
樹脂製産業資材の製造・販売
精密化工製品製造・販売
反射防止などの機能性精密樹脂製品など

ホームページ <https://www.fukuvi.co.jp/>

環境共生型社会を目指し、「地球をクマなく想う。」開発型樹脂成型加工メーカーのフクビ化学工業の八木様と森様にお話を伺いました。

■ 弊社概要

1950年代、福井の基幹産業である繊維産業は朝鮮動乱以降の苦境に晒されていました。そのような状況を打破すべく新たな産業を興そうと有志が集まって設立された「福井ビニール工業株式会社」が弊社の前身になります(1953年設立、代表取締役八木熊吉。1970年現社名)。創業時、塩化ビニール建材の製造販売からスタートし、1974年には長尺床材の国内生産を開始しました。1980年代には海外に進出しアメリカやタイ、ベトナムに拠点を設立しています。2000年代に入り、他社に先駆けて環境に配慮した製品の開発に着手。2023年には社内独自の環境配慮型商品認証制度「Fukuvalue(フクバリュー)」を立ち上げるなど、持続可能な社会形成への貢献を目指しています。2023年4月からスタートした第7次中期経営計画を進める中で、2024年4月には三井物産プラスチックから森克則氏が着任、6月に社長COOに就任。会長CEO、社長COOのもと、ガバナンスと執行の強化を図りながら、フクビグループの更なる価値向上に取り組んでいます。

■ 事業内容

- ▼**建材事業** 外装建材、内装建材、床関連材、システム建材等を開発・製造・販売しています。また建設工事設計施工の事業を営んでいます。
- ▼**CSE事業** 主に住宅設備、車輦分野でユーザーからの受注によるOEM製品・ODM製品等を開発・製造・販売しています。
- ▼**精密事業** 反射防止付樹脂シートを主とする機能性コーティング製品を開発・製造・販売しています。
- ▼**グローバル事業** 海外市場向けの外装建材、内装建材等の開発・製造・販売しています。

■ 「4つの重点事業戦略」

持続的な企業価値の向上に向け、我々の様々な技術を掛け合わせ、社会課題の解決に生かせる「新たな住まい」「オフィス&ファクトリー」「インフラ」「モビリティ」の4つを重点事業領域としています。

- 1. 新たな住まい** エネルギー効率を高める断熱が重要なテーマの一つです。業界トップクラスの高性能断熱材『フェノバボード』や内窓『メルツエンサッシ』などが成長しています。
- 2. オフィス&ファクトリー** 省施工性や高耐久性などの技術を新たな市場に応用しています。親水性コーティングを施したパネル天井材『シズクリア不燃』は、食品工場やスーパーマーケットの天井に使用され、結露防止とカビの発生を防いでいます。
- 3. インフラ** 炭素繊維複合材を使った橋梁やトンネルの補修工事

が進んでいます。また、再生木材「プラスッド」を使用した屋外用家具『Fandaline(ファンダライン)』を展開し、地方自治体や鉄道会社から高く評価されています。

4. モビリティ 自動車のメーターパネルに反射防止コーティング『HARZLAS AR』が、インテリアやインジケーターに導光棒『光ガイディングバー』がそれぞれ採用されています。また、『HARZLAS AR』は医療用モニターディスプレイやパソコン・タブレットのレンズカバー等にも広く使用されています。



高透明・低反射パネル「ハーツラスAR」



光ガイディングバー

■ 資源循環の取り組み

廃棄物を新たな価値を持つ商品に生まれ変わらせる取り組みを進めています。例えば、森林整備の過程で発生する間伐材をデッキ材等に再生した『プラスッド』は、公共施設や商業ビルの木質化ニーズに応える商品として多くの引き合いをいただいています。塩ビクロスの廃材を利用した遮音粒剤『サイレントドロップ』はマンションのリフォーム時に広く使用されています。



「プラスッド」使用例 福井市観光交流センター

■ 人的資本経営への取り組み

経営の課題に向き合い、持続的な成長を遂げるためには“人財”が不可欠です。「人がいてフクビがあり、人が成長してフクビが成長する」という想いで、社員のエンゲージメント向上に向けて取り組んでおり、昨年に引き続き今年も「健康経営優良法人2025」に認定されるとともに、従業員持株会を通じた譲渡制限付の株式インセンティブ制度も導入しています。また、多様な人財の確保のため、一度退職した人材がカムバックできるよう、「アルムナイネットワーク」も構築しています。



これからも持続的な成長と企業価値の向上を目指し、各分野での技術とビジネスモデルを駆使して社会課題の解決に貢献してまいります。

編集
発行

HIAO 一般財団法人 北陸産業活性化センター

〒920-0981 石川県金沢市片町2丁目2番15号 北国ビルディング4階 TEL.076-264-3001